

2022年度第2回契約監視委員会議事要旨

1. 日 時:2023年1月19日(木)13:30~15:30
2. 場 所:JAXA東京事務所 地下階 B101、B102、B103 会議室
各拠点のTV会議端末拠点及びTeams
3. 出席者:横山委員長、大久保委員、長沢委員、田澤委員、三宅委員、小林委員
(※大久保委員はTeamsによるリモート参加)

4. 審議概要:

(1)2022年度第1回契約監視委員会議事要旨の報告

事務局より前回委員会議事要旨について報告があり、了承された。

(2)2022年度調達等合理化計画の実施状況について

調達部より、2022年度調達等合理化計画に基づく第2四半期までの随意契約や一者応札・応募の実績と、物品・役務の合理的調達に関する取組実績等について説明があった。委員からは、一般競争の一者応札の割合が高いことについて、中身の分析をするようにとのコメントがなされ、次回委員会で説明することとなった。

(3)2022年度第2四半期に新規に締結した契約の点検

2022年度第2四半期に新規に締結した随意契約及び一者応札・応募となった案件のうち、契約金額が大きいもの、複数の仕様書受領があったものを中心に点検を受けた。その結果、問題となる契約はなかった(個別案件ごとの点検内容は別紙のとおり)。

その他

・次回の委員会は、4月17日(月)に開催することとした。

第2回 2023年1月19日

競争性のない随意契約			4件	①-1 将来測位システム 地上試験モデルの試作(そのア) ①-2 将来測位システム 地上試験モデルの試作(そのイ) ② メタン推進薬の爆発安全基準策定に関する共同研究 ③ X線分光撮像衛星(XRISM)及び小型月着陸実証機(SLIM)追跡管制隊企画管理班業務支援
競争入札	一般競争	価格評価	3件	④-1 H3ロケット試験機1号機(CFT 試験含む)打上安全監理業務等に係る支援 ④-2 H-IIAロケットF46号機打上安全監理業務等に係る支援 ⑤ 卓上X線CT装置の購入

主な質疑等は以下のとおり。

- ① 1 将来測位システム 地上試験モデルの試作(そのア)
 2 将来測位システム 地上試験モデルの試作(そのイ)

[競争性のない随意契約]

本件は、内閣府が開発・整備・運用等を行っている準天頂衛星システムの後継機及び将来の準天頂衛星システム構成、搭載機器の性能向上等を目指した研究開発として、内閣府から受託した将来測位衛星システムの検討対象項目についてフィージビリティスタディ(FS)検討時に準天頂衛星システムの開発を担当した事業者を想定し参加者確認公募を実施し、他者から応募がなかったことから選定業者2者とFSの契約を締結。そのFSの結果を基に試作範囲を分担して契約をしたものである。

契約した2者は将来測位システムのシステム検討において実現可能性検討を実施した事業者で、実現性検討の結果、対象要素技術に係る開発要求および技術到達度を達成するために必要な技術識別結果を蓄積しているとし、2024年度末までの期間内に本業務を実施することが他の事業者では困難とであると説明がなされた。

委員からは、試作が終わり衛星を作ることとなった場合に、検討した項目すべてを分ければ2者以外にも受注可能性のある者がいるのではないか。その場合2者だけで検討することが良いのかという質問があり、内閣府からの受託の状況により分けて契約する可能性はあるが、測位システムとして全体を組むことについてはこの2者になるとの説明がなされた。また、契約は試作の結果と内閣府の方針を踏まえ最適な方法で調整したいとの発言があった。

② メタン推進薬の爆発安全基準策定に関する共同研究

[競争性のない随意契約]

本件は、ロケットの運用に際しては万が一の爆発事故を想定し、機体に搭載される推進剤の種類、搭載量などを基に確保すべき保安距離を算出し、安全を担保する運用を行っている。革新的将来輸送システムの研究開発において候補となっている推進剤のメタンについては技術基準が無いことからメタンに対する保安距離算定の技術基準を確立するための研究を行うものである。

本契約の選定業者については火薬類・高圧ガスなどの爆発安全技術に関する研究実績が豊富であり、メタン推進系の爆発安全評価の研究に関して必要な知見を有しており、一連の研究で実施が必須となる野外での大規模な爆発実験及び実験結果に基づく安全性評価を定常的に実施している唯一の研究機関であるとして、部門等会議で審議・決定をした。また、部門等会議では、研究内容、共同研究の必要性、契約相手方の選定理由、役割分担の適切さ、研究の最終目標及び共同研究の位置づけなども確認をしているとの説明があった。

委員からは、有償の契約となる場合、契約審査委員会において審議される際、契約先の選定理由、随契根拠は部門等会議で審議した結果としており、部門等会議における承認プロセスは重みのあるものであるので記録として残すことが重要であるとの発言がなされた。

③ X線分光撮像衛星(XRISM)及び小型月着陸実証機(SLIM)追跡管制隊企画管理班業務支援

[競争性のない随意契約]

本件は、人工衛星の打上げに際しJAXA内の多くの部署にまたがって的確かつ円滑に業務を進める必要があり、系統的な構成、明確な指揮命令系統及び有機的な連携を有する臨時組織として追跡管制隊を設けている。その追跡管制全体・班間の進行管理・調整、対外調整・対応、情報連絡、広報など隊全体のとりまとめを行う企画管理班業務の支援を行うものである。

本契約は、2衛星同時の打上げであることから両衛星の衛星管制運用特性を把握し、両衛星の追跡管制隊衛星管制班及び追跡ネットワーク班との確実かつ円滑

なインターフェース調整が実施できることが条件となるが、提案業者はこれまでに複数の運用業務の実績があること、本契約を提案業者以外が履行した場合両衛星の運用特性を踏まえた準備作業工程及び情報伝達・情報共有等の調整に時間を要し追跡管制隊全体を円滑に運営し確実な打上げから衛星運用を実現することが不利になることから、本業務を JAXA にとって有利に行えるのは提案業者以外にいないとの説明が担当者よりあった。

委員から既存3契約について契約方式の確認があり、入札であったとの回答があったことから、本件についても入札の可能性があったとの発言があり、調達部から両衛星を繋いでの調整業務であると考えたと2者いれば2者を指名した形での競争も制度上可能な方式と考えるとの説明があった。原局からは本業務は技術的知見が無いと出来ないと考えている。今回は特に2衛星が絡む複雑な状況でチームとしての対応が必要であったとの説明があった。

- ④ 1 H3ロケット試験機1号機(CFT 試験含む)打上安全監理業務等に係る支援
2 H-II A ロケット F46 号機打上安全監理業務等に係る支援

[一般競争・価格評価方式]

本件は、ロケット打上げまでの規制作業に伴う無人化及び消防車・救護車配置、打上げ時の各種安全監理業務を実施するものである。

本契約は、打上げ時期が定まってからの入札公告のため、開札から作業開始までに時間が限られる中、幅広い業務内容で多数の人員を集める必要があること。立地条件が離島であり、短時間の作業のためセンター集合・解散が可能で、延期や変更に対応できる必要がある。また、特定期間の業務で地域事情や、センター設備の整備作業で設備を熟知している必要があり、複数者に対し声掛けを行っているが落札業者以外の入札参加者が無い状況であるとの説明が担当者よりあった。

委員からは、離島であり島内の人しか対応できない条件で対策が新規参入業者への声掛けだけでは対策にならないのではないかと。随意契約を検討する場合、請負契約として定期的に業務を出すという中でコストダウンが図れる余地があるかの検討をする必要がある。一度に100名程度の要員を確保することが条件であれば参入できる業者は他にいるように思えるので随契には抵抗があるなどの発言がなされた。

- ⑤ 卓上 X 線 CT 装置の購入

[一般競争・価格評価方式]

本件は、探査機帰還資料や比較対象となる隕石資料などについて正確な体積を求め内部構造を3次元的に把握するために有用な卓上X線CT装置の導入するも

のである。

本契約は、理化学系の測定器を扱っている代理店で広く販売をされている製品で理化学機器代理店の他2者へ声掛けを実施したが、結果的に一者応札となった。予定価格作成にあたって参加業者から参考見積を徴取し、市場価格の査定としてインターネットで調査し、参考見積が市場価格より安価であることを確認し予定価格を作成したとの説明が担当者よりあった。

委員からは、法人向け取引の場合、相対価格という取引方法が一般的で、インターネットによる市場価格との比較だけで判断をするのは危ういと感じる。見積書は複数徴取するようにとの指摘があった。また、本指摘は大変重要であり本件に限らず JAXA 全体の調達において反映いただきたいとの発言があった。

以 上